



第 10 回 ITS シンポジウム 2011 CALL FOR PAPERS

日時: 2011 年 11 月 4 日(金)~5 日(土)
会場: 東京大学生産技術研究所 総合研究実験棟 (An 棟、As 棟)
主催: 特定非営利活動法人 ITS Japan

協賛(予定): (社)計測自動制御学会、(社)交通工学研究会、(社)自動車技術会、(社)情報処理学会
(社)人工知能学会、(社)電気学会、(社)電子情報通信学会、(社)土木学会、(社)日本機械学会
日本交通心理学会、(社)日本ロボット学会、
情報処理学会 ITS 研究会、情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会
情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会、電子情報通信学会 ITS 研究会
電子情報通信学会パターン認識・メディア理解研究専門委員会

テーマ: **新しい産業、暮らし、街をつくる ITS**

ITS シンポジウムは、民官学の研究者・実務者が一堂に会する ITS 研究に関する情報交換の場として、2002 年の第 1 回大会以降、継続的に運営されてきました。今回は、記念すべき第 10 回大会として、逆都市化の大波の中で、活力のある超高齢社会、明るい低炭素社会を創造する観点に立ち、価値創造型の ITS 研究として、「新しい産業、暮らし、街をつくる ITS」をテーマに、開催します。

ITS シンポジウムの最大の特徴である「活発な討議」を重視して、企画セッションにおける会場との議論、対話セッションにおける全体討議を重視した運営プランを構築しています。ITS 技術開発研究の最新動向とその論点の把握に役立つ議論や、次の ITS 技術開発のヒントとなるような新しい視点に立った議論が活発に展開されることを期待しています。

シンポジウムでは、以下のテーマについて企画セッションを予定し、参加者と広く議論できるよう、プログラム委員会において企画・検討中です。

- 1) 暮らしを支えるロジスティクス
- 2) 生活道路の事故ゼロと ITS
- 3) 次世代モビリティ(パーソナルモビリティビークル)
- 4) 協調型の安全運転システムの開発と普及

一般投稿論文は、ITS に関連する基礎理論・技術と応用に関して幅広いさまざまな分野から募集します。詳細は下記をご確認ください。奮ってご応募をお待ちしております。

1. 投稿方法

投稿方法には「査読あり」「査読なし」があり、投稿時にいずれかを選んでいただきます。査読の有無はプログラムに記述し、異なる Proceedings として発行します。

●査読あり

(1) フルペーパー提出期限: 6 月 13 日(月)

(2) 提出物: (1)フルペーパーおよび(2)論文投稿票

使用言語は日本語または英語。A4 サイズで 6 ページ以内。指定の様式に従って、MS-Word ファイルまたは PDF ファイルで作成し、(1)と(2)を下記送付先へ電子メールでお送りください。

(3) 採否と発表セッション日時(暫定)の連絡: 8 月中旬

3 名の査読者による「新規性・独自性」、「社会的/技術的有用性」、「説明の明確さ、論理性」、「内容充実度」の各項目の評価にもとづいて、プログラム委員会の判断により採否を決定いたします。



(4) 最終カメラレディ原稿の提出期限：9月26日(月)

(5) 優秀論文賞と論文誌への推薦：

特に優れた論文には優秀論文賞が授与され、英文論文誌 International Journal of Intelligent Transportation Systems Research に推薦されます。

●査読なし

(1) ショートアブストラクト提出期限：7月25日(月)

(2) 提出物：(1)ショートアブストラクトおよび(2)論文投稿票

使用言語は日本語または英語。250字程度のアブストラクトを論文投稿票の当該欄に記入し、(2)のみを期限までに下記送付先へ電子メールでお送りください。

(3) 採否と発表セッション日時(暫定)の連絡：8月中旬

(4) 最終カメラレディ原稿(フルペーパー)の提出期限：9月26日(月)

A4サイズ6ページ以内のフルペーパーを指定の様式に従ってご提出いただきます。

なお、投稿票ならびに論文フォーマットは、ITS Japan ウェブサイト

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium10/ に掲載します。

2. 参加登録料

・論文発表者参加登録料(投稿料を含む)：一般15,000円/学生8,000円

・聴講のみの参加登録料：一般会員15,000円/一般非会員20,000円/学生3,000円.....10月24日(月)まで
一般会員18,000円/一般非会員23,000円/学生3,000円.....10月25日(火)より

3. 発表方法

一般投稿論文は査読の有無に関らず全て「対話型セッション」にて発表していただきます。本セッションは、ポスターを作成していただき、ポスターの前で参加者と直接対話しながら議論を深めていただくものです。後半の時間帯には、モデレータの司会による公開討議の時間を設け、さらに議論を深める工夫をする予定です。また数件のベストポスター賞を選考委員会によって選定・授与いたします。

4. 募集する論文の分野

ITSに関する基礎技術から応用技術まで、幅広い分野の論文を募集します。以下に代表的な分野を示します。

- | | |
|--|--|
| ◇ センサ技術
画像、レーザー、誘導コイル、超音波センサ、
およびこれらに基づく認識技術 | ◇ 交通制御
事象検出、交通計測、信号制御、事故マネジメント |
| ◇ 通信技術およびアプリケーション
光ビーコン、電波 DSRC、ETC、ナビゲーション | ◇ 交通計画
道路設計、信号設計、交通シミュレーション |
| ◇ 車両制御と自動運転
ACC、レーンキープ、自動運転、自動運行バス | ◇ 環境改善
車両技術、交通管理技術、情報サービス、社会実験 |
| ◇ 安全性向上とヒューマンインタフェース
ASV、運転支援、シミュレータ、ドライバーセンシング | ◇ 都市工学
都市空間モデリング、都市計画 |
| ◇ 交通心理学
ドライバ心理、歩行者心理、消費者心理 | ◇ 交通政策、交通経済
法令整備、TDM、ロードプライシング、プライバシー保護 |
| ◇ ITSシステムアーキテクチャ、ITSプラットフォーム | ◇ 情報コンテンツ、その他アプリケーション |

■ 第10回 ITS シンポジウム 2011

プログラム委員長：原田昇(東京大学)

プログラム委員：田所諭(東北大学)、山本俊行(名古屋大学)、上條俊介(東京大学)、
清水哲夫(首都大学東京)、菅沼直樹(金沢大学)、大門樹(慶應義塾大学)、
田中伸治(東京大学)、中野公彦(東京大学)、羽田隆志(静岡文化芸術大学)、
羽藤英二(東京大学)、藤井威生(電気通信大学)、赤津洋介(日産自動車)、
阿部明明(パナソニック)、堀口良太(アイ・トランスポート・ラボ)

■ 送付・問合せ先

ITS Japan 井出晴子 (〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館ビル)
TEL 03-5777-1013 / FAX 03-3434-1755 / E-mail h-ide@its-jp.org

